



プレスリリース

インベスコ 中国投資へのグローバル調査結果を発表

世界の投資家の中国市場に対する前向きな見通しが明らかに

-世界の投資家の 8 割超が今後 12 カ月間に中国への配分を増やすと回答

当資料は、インベスコが 2019 年 11 月 11 日に発表したプレスリリースの抄訳版です。

- **世界の投資家は、中国経済をグローバル経済よりも前向きに評価**
- **半数の投資家が過去 12 カ月間で中国への投資配分を引き上げ**
- **8 割を超える投資家が今後 12 カ月間に中国への投資を増やすと回答**
- **資産クラスは中国 A 株、セクターは技術革新、金融サービス、および「ニューエコノミー」を選好**

2019 年 11 月 11 日：インベスコは、グローバル投資家の中国エクスポージャーに関する調査である「**チャイナ・ポジション (The China Position)**」を発表しました。本調査によると、世界の投資家の 80%以上が、今後 12 カ月間で中国投資に対する投資配分を大幅ないしはそれなりに増加させる意向であることが明らかになりました。中国への投資を縮小すると回答した投資家はわずか 4%に過ぎませんでした。

本調査は、北米、日本を含むアジア太平洋、欧州、中東・アフリカの、5 億米ドルを超える資産の運用を行う 411 の機関投資家を対象に、2019 年 8 月～9 月に行われました。本調査はインベスコが主催し、英国の国際経済誌「The Economist」の調査部門であるエコノミスト・インテリジェンス・ユニットが実施したものです。

調査結果によると、約 90%の回答者が（「新興国」といった地域の一部ではなく）中国一国を対象とした投資を行っており、残りの約 10%についても、その約 2/3 がグローバルやアジア、新興国の一部として中国への投資を行っていることが明らかになりました。また、中国のみを対象とした投資を行っている機関投資家にとって最も人気のある資産クラスは中国 A 株（69%）、次いでオンショア中国債券市場（60%）、中国 H 株（59%）となりました。投資を行う目的としては、「ポートフォリオの分散」（87%）が最も多く、次いで「知見を高めるため」（69%）、「超過収益（アルファ）の追求」（62%）となりました。一方、中国のみを対象とした投資を行っていない理由としては、「外国人投資家にとっての金融システムの透明性の欠如」（40%）、「法的保護に関する懸念」（37%）、「経済の安定性に関する懸念」（35%）、「信頼できる金融仲介業者の欠如」（35%）などの課題が挙げられています。

中国経済に対する投資家の明るい見通し

世界経済の先行きについて、投資家は依然として前向きにとらえており、中国経済についてはさらに強気の見方をしていることがわかりました。今後 12 カ月間の経済状況が現状よりも良好と考えている回答者は、世界経済についてが 65%であったのに対し、中国については 74%に及びました。中国の主たる投資テーマについては、技術開発におけるグローバル・リーダーとしての同国の地位の高まりに伴い、技術革新（人工知能、ロボットなど）が最も注目されており（58%）、次に金融サービス（51%）、ヘルスケア、IT、教育などの「ニューエコノミー」サービス（41%）と続いています。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 306 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

〒106-6114
東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー 14 階
Telephone 03-6447-3000

米中の貿易戦争の影響については悲観ばかりではなく、投資配分に及ぼす影響も限定的

米中の貿易戦争が投資判断にどのような影響を与えるかについて、回答はまちまちであり、43%が投資判断にマイナスの影響を与えると回答した一方、42%はプラスの影響を与えると回答しています。予想される影響にはばらつきがあるものの、貿易戦争を考慮しても、多くの投資家が依然として中国への投資を「大幅に増加」(32%)または「それなりに増加」(36%)させるだろうと予想しています。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社の代表取締役社長兼CEOである佐藤秀樹は、本調査の結果について、『中国の大規模な成長と市場へのアクセス拡大に向けた継続的な努力により、グローバルな投資家にとって中国がますます魅力的な投資対象となっていることが示されています。インベスコは約30年にわたり、中国市場への投資機会を提供して参りました。引き続き、多様なお客様の投資ニーズを満たし、投資家の方々のお役に立ちたいと考えております』とコメントしています。

以上

「チャイナ・ポジション」の全文(英語)は下記サイトから御覧いただけます。

http://inves.co/china_position

注記：サンプルと調査方法について

本調査は、インベスコ主催の下、Economist Intelligence Unitがまとめたものです。本調査は、2019年8月～9月にかけて、411の機関投資家(資産運用会社、商業銀行、基金、政府機関、ヘッジファンド(ファミリーオフィスを含む)、年金基金、保険会社、ソブリンウェルスファンド)の経営者や幹部を対象に実施されました。調査対象機関の運用資産は5億～100億米ドル以上に及びました。今回の調査の回答者は、概して、同業他社と比較した場合、中国エクスポージャーについて平均を上回っていました。

インベスコはエコノミスト・インテリジェンス・ユニットの関連会社ではありません。

当資料に記載されている全てのデータは、特に記載がない限り2019年6月30日時点です。

インベスコについて

インベスコは、「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」ことを会社の存在意義として掲げ、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社です。インベスコは、グローバル市場で培った特色ある運用力を強みとするブランドを傘下に収め、世界中の個人投資家、機関投資家などの顧客の資産運用ニーズに対し、グループの総合力を結集して包括的な解決策を提供しています。インベスコは、世界20カ国以上に拠点を置き、ニューヨーク証券取引所に上場しています(証券コード：IVZ)。インベスコに関する詳しい情報は、ウェブサイト www.invesco.com (英語) で入手することができます。

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社について

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、「素晴らしい投資体験を通じて、人々の人生をより豊かなものにする」ことを会社の存在意義として掲げ、グローバルな運用力を提供する世界有数の独立系資産運用会社インベスコ・リミテッドの日本拠点です。インベスコ・アセット・マネジメント株式会社は、内外の公的年金・企業年金、事業法人、銀行や保険会社など機関投資家を対象に、株式や債券などの伝統的な投資戦略からオルタナティブなど非伝統的な投資戦略まで幅広い商品およびサービスを提供しています。また、銀行・証券会社・保険会社などを通じて個人投資家向けの投資信託およびサービスを提供しています。インベスコ・アセット・マネジメント株式会社に関する詳しい情報は、ウェブサイト www.invesco.co.jp で入手することができます。

その他の留意事項

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が、インベスコ・リミテッドが作成した英文資料を抄訳し情報提供を目的として作成したプレスリリースであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。抄訳には正確を期していますが、必ずしも完全性を当社が保証するものではありません。また、抄訳の場合には、原資料の趣旨を必ずしもすべて反映した内容になっていない場合があります。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、当資料に示す見解は、インベスコの他の運用チームの見解と異なる場合があります。

投資信託は、主として国内外の株式や公社債などの値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動などにより投資一単位当たりの価値が変動します。したがって、お客さまのご投資された金額を下回ることもあります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧いただき内容・リスクを十分ご理解のうえ、ご自身でご判断ください。